

日本におけるOEと 放送大学における現状

岡部洋一
放送大学長

Y. Okabe

お詫び

- ◆ この1カ月ぐらいの間に、私の頭の中で相転移が起きたため、PPT の順番を差し替え、OER の話を最後に移動しました

m(_ _)m

アウトライン

- ◆ 1. 公開大学と周辺状況
- ◆ 2. 双方向学習
- ◆ 3. SNS
- ◆ 4. OER
- ◆ 5. 結論

1. 公開大学と周辺状況

- ◆ 1.a. 日本における大学の劣化
- ◆ 1.b. 放送大学とは
- ◆ 1.c. 遠隔教育の国際動向

1.a. 日本の大学の劣化

- ◆ 学生の勉強不足←厳しい入試の結果
- ◆ 卒業生の学力不足←卒業率維持のため
(下落すると、文科省からの評価ダウン)
- ◆ 企業から見た学生の評価の下落
- ◆ 就職活動のため益々学力低下を起こす
- ◆ 悪い positive feedback がかかりつつある
- ◆ さらにコミュニケーション能力不足の学生

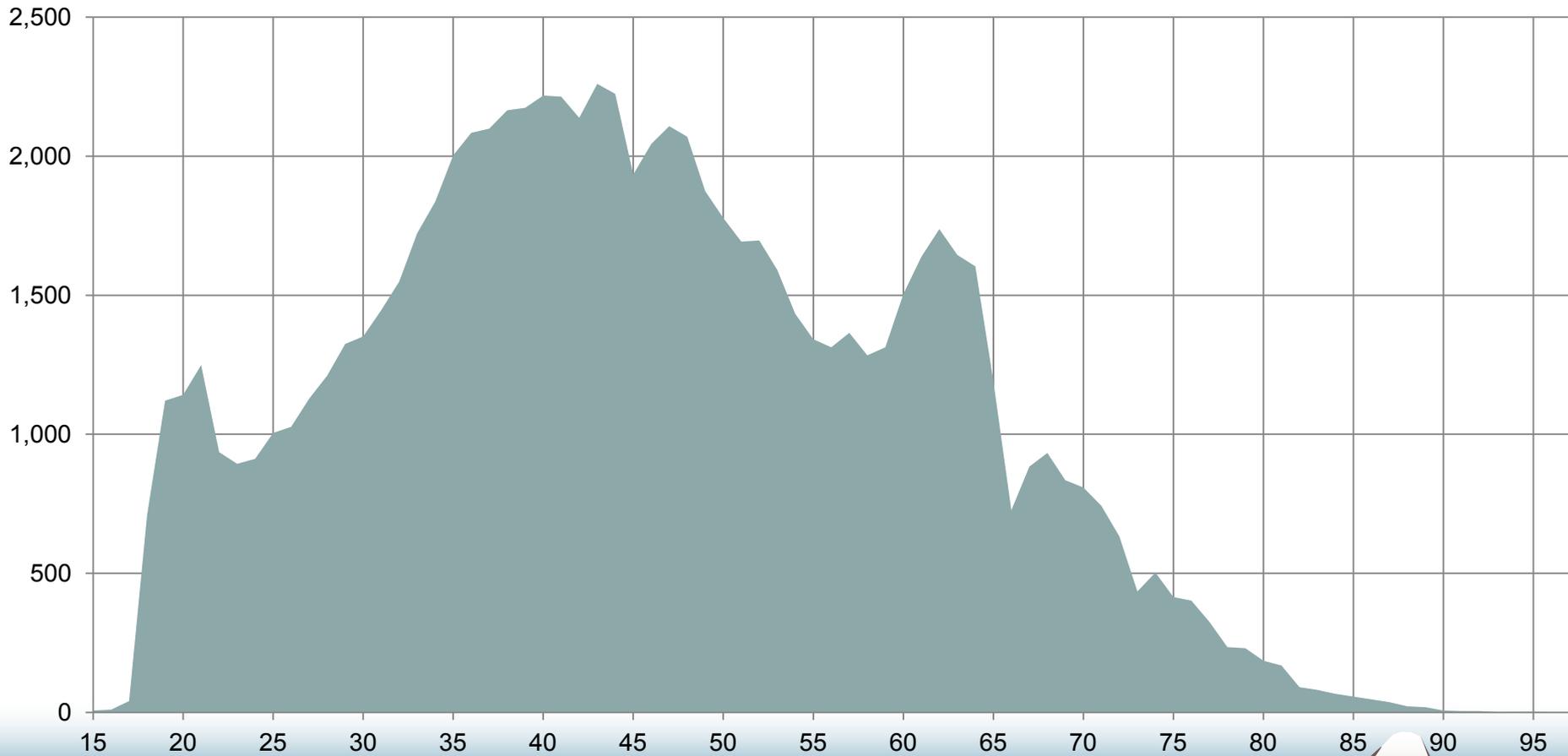
劣化は止められるか

- ◆ 入口を緩める
 - 人気大学ではこれが大変
- ◆ 試験は厳格に（出口は厳しく）
 - 一時的な人気低下に耐えられるか
- ◆ 教育の双方向性を確保
 - これにより各大学の個性が決まってくる
- ◆ コミュニケーションの場を少しでも多く確保
 - ネット越しも必要となる

1.b. 放送大学とは

- ◆ 二つの Open (Open Education[入試なし]、Open Educational Resources)
- ◆ 在學生はほぼ人口比に比例しており、相対的に高齢者多し
 - 平均40～50歳、最大100歳前後
 - 世界に冠たるLLL(生涯学習)大学
- ◆ キャンパスがない
 - 各都道府県に置かれた50+αの学習センターのみ
 - コミュニケーション不足: 先生、友達
 - その他の問題: 課外活動、図書館

在学生の年齢分布



1.c. 遠隔教育の国際動向

- ◆ Mega Univ. (学生数10万以上) の台頭
 - 世界のMega Univ. の95%以上がアジアに
- ◆ ODL (Open Distance Learning) のネット化
 - R、TV → ICT、携帯化
- ◆ OER (Open Educational Resources, 公開教材)
 - OER 利用して自前講義を持たない大学

2. 双方向学習

- ◆ 2.a. 双方向学習とは
- ◆ 2.b. 双方向学習の現状
- ◆ 2.c. 双方向学習の課題と解決策

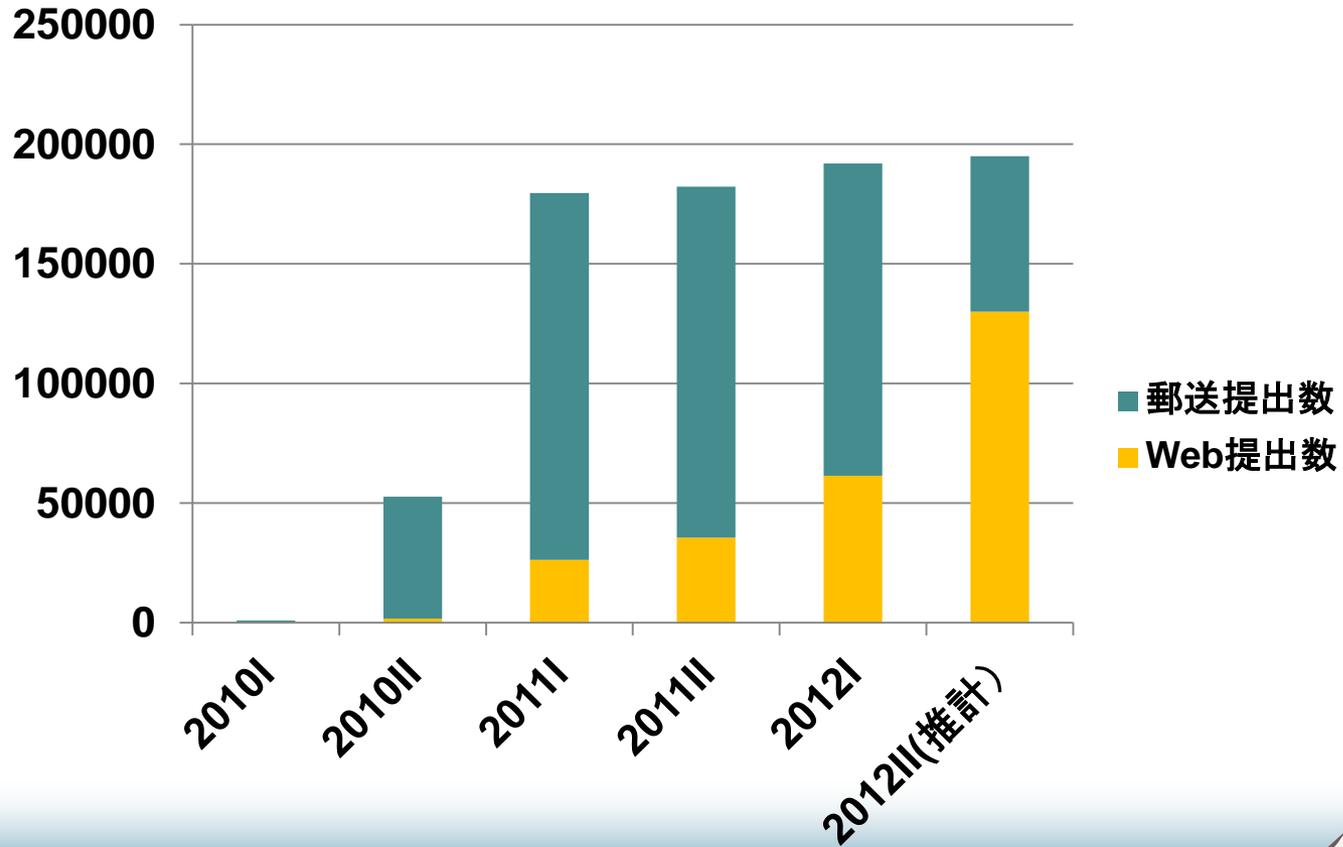
2.a. 双方向学習とは

- ◆ 質問のネット化→email、電子掲示板
- ◆ ドリル形式の補助教材
 - 通信指導問題のネット化(放送大学)
 - 廉価な補助教材の提供(UPO)
- ◆ Webinar、遠隔講義(同期)、共同参加型

2.b. 双方向学習の現状 (放送大学の現状)

- ◆ 通信指導問題
 - 2011年度より、すべての選択科目をネット化
- ◆ 電子掲示板
 - 教員の希望に合わせて設置
- ◆ Webinar
 - 現在すでに希望の教員は使用中
- ◆ 遠隔講義、共同参加型
 - 北海道、沖縄などを中心に実施

通信指導Web提出



2.c. 双方向学習の課題と解決策

- ◆ 掲示板: 任意の場合、学生に書込みの気運を作るのが難しい(先生も)
 - ROM
 - 強制力?
 - 若手 TA 導入(学生の気運を上げ、先生の代理)
- ◆ 掲示板: 炎上対策必要
 - 特に文系科目
 - 何らかの第三者が介入し、削除などを可とする

3. SNS

- ◆ 3.a. Virtual Community の必要性
- ◆ 3.b. Twitter
- ◆ 3.c. Facebook
- ◆ 3.d. SNS の特徴
- ◆ 3.e. SNS の問題点
- ◆ 3.f. SNS の今後
- ◆ 3.g. SNS は必要か

3.a. Net Community の必要性

- ◆ 放送大学(ODL): Virtual Campus 必要
- ◆ 一般大学: ネット好きな若者対応
- ◆ LMS であると、質疑前提、大学の関与大のため、Community を構成しづらい
- ◆ 無償 SNS が使いやすい

3.b. Twitter

- ◆ 虚名多い→やや無責任
- ◆ 140文字以内の短文
- ◆ 秘匿性低い
- ◆ 即時性が高い
- ◆ 多人数の井戸端会議



__obake

3.c. Facebook

- ◆ 実名登録が原則→責任ある発言
- ◆ 会員制→秘匿性が高い
- ◆ 友人探し容易
- ◆ グループが作成しやすい
- ◆ 投稿しても直ぐに見えないことがある
- ◆ サークル活動の形成: 同好者、議論

放送大学の公式ページ

facebook 友達、スポット等を検索

岡部 洋一 ホーム

Facebookページを作成

放送大学 (The Open University of Japan) いいね! 401人

大学
放送大学広報課が運営する公式Facebookページです。

基本データ 写真 いいね! 401 ノート 3

[OUJ facebookpage(放送大学公式)]
放送大学を取り巻く人語ってもらうこのコーナー

放送大学 (The Open University of Japan) 5時間前

THE OPEN UNIVERSITY
放送大学を取り巻く人々に語ってもらうこのコーナー。岡部洋一学長に語っていただいております。

2013年 北海道食材を使った御節を全国へ宅配
tsuruga-market.com

北海道の新鮮な食材を生かしたおせちこだわりの味付け。温泉旅館がお届けする御節で新年を。売り切れ御免 数量限定です。

現在
10月
2012年
開始日

他の友達 (10)

Hideaki Sone

検索

放送大学の公式ページ

facebook 1 2 友達、スポット等を検索

https://www.facebook.com/notes/放送大学the-open-university-of-japan/ouj-facebookpage 放送大学公式岡部洋一学長3全4回-学ぶこととインターネットsnsの活用/51349309

default access 交通天候 OKABE お役立ち アップル ニュース Amazon.co.jp YouTube Wikipedia Gmail Google カレンダー 岡部 洋一 のトップペ... その他のブックマーク

[OUJ facebookpage (放送大学公式)] 岡部洋一学長 (3/全4回) 「学ぶ」ことと、インターネット、SNSの活用

作成: 放送大学 (The Open University of Japan) 日時: 2012年11月28日 10:27



放送大学 (The Open University of Japan)

放送大学を取り巻く人々に語ってもらうこのコーナー。岡部洋一学長に語っていただいております。



放送大学が忙しい時間を割いて行っているインターネット、そしてSNS、学問との関わりについて語っていただきました。



「もっとSNSを活用していきたいですね」と語る岡部洋一学長

◎ 体系だてて学ぶことができるのは、大学最大の強み

インターネットが普及して、調べることがとても容易になりました。たいていのことは検索すれば調べられる。けれども人間にとって、体系的な知識を獲得しようとする、やっぱり講義を聞くほうが楽なんです。だが

知り合いかも? すべて見る

- 芝 健夫 共通の友達1人 友達になる
- Mutsuko Hatano 友達になる
- 古口理加 友達になる
- Makoto Miwa 共通の友達3人 友達になる
- 松浦 達治 共通の友達1人 友達になる
- 塚田 俊久 共通の友達2人 友達になる
- Kazuhiko Hirakawa 共通の友達3人 友達になる

西村 敏記さんが「魔車ドットコム【魔車・事故車を買取します】について「いいね!」と言っています。

平野 健太郎さんが自分のリンクにコメントしました。「ポイントはこちら」

50代社員の貢献度が高い企業では、「社...」

森本 かおるさんが瀬戸内アイランドレイル in 呉・上瀬川島について「いいね!」と言っています。

池田 謙さんが自分の近況にコメントしました。「結局狙っていた電車は運休、次の電車が定刻の9分遅れて、ほぼ離...」

小野 真子

平野 健太郎

杉本 勝久

福岡 二九雄

森本 かおる

辰巳 丈夫

辻 靖彦

遠藤 真樹

難波 雅美

高森 秀雄

他の友達 (11)

Hideaki Sone

検索

3.d. SNS の特徴

- ◆ SNS によって全く使い勝手が異なる
 - Twitter:
 - 放送大学に関心のある人の意見把握容易
 - 回答容易、宣伝機能、ニュース機能あり
 - 本名を使わないため攻撃が発生しやすい
 - Facebook:
 - 本名を使うため真面目な議論が多い
 - いくつかのサークルなどが直ぐにできる
 - ニュース機能低い

3.e. SNS の問題点

- ◆ 炎上
 - Twitter で起きやすい
- ◆ 荒らし
 - FB の「放送大学グループ」で起きたことがある
- ◆ 対策
 - 投稿者を追跡でき、ログが見られる SNS、要するに自前のシステム→Moodle, Sakai など

3.f. SNS の今後

- ◆ 同じ SNS でも Twitter, Facebook, LinkedIn, Google+ など、使い道が異なるため、用途に合わせたシステムの採用
- ◆ 炎上防止やセキュリティ維持のためには、管理権限を持てること、ログが採れることなどのため、自前の SNS が望ましいかも
- ◆ 大学でのツールとしての可能性は高い

3.g. SNS は必要か

- ◆ 恐らく不可欠になっていく
- ◆ 教育側の効果
 - 学生の不満が溜まりづらい
 - 先の計画が学生に見える
 - 教員側も学生を掌握できる
- ◆ 事務側の効果（武雄市などでも実証済）
 - 対応が早くなる
 - 責任意識が芽生える

4. OER

- ◆ 4.a. OER とは
- ◆ 4.b. Business になるのか
- ◆ 4.c. 放送による OER
- ◆ 4.d. ネットによる OER
- ◆ 4.e. 教科書の電子化
- ◆ 4.f. OER の課題と解決策
- ◆ 4.g. OER の新たな潮流

4.a. OER とは

- ◆ Open Educational Resources
 - MIT OpenCourseWare: 講義の公開
 - Open Learning Initiative (CMU): 教科書素材の公開
 - OCW、iUniv、iTunes U などより公開
- ◆ 積極的な英語圏
- ◆ OER 利用大学

4.b. Business になるのか

- ◆ 作るのには多資源必要 vs 使うのはタダ
- ◆ 宣伝効果←Business Model としては崩壊
- ◆ 国、あるいは地球レベルの経済性
- ◆ 社会貢献、国家戦略←公共的投資
- ◆ OER 利用大学との負担分担

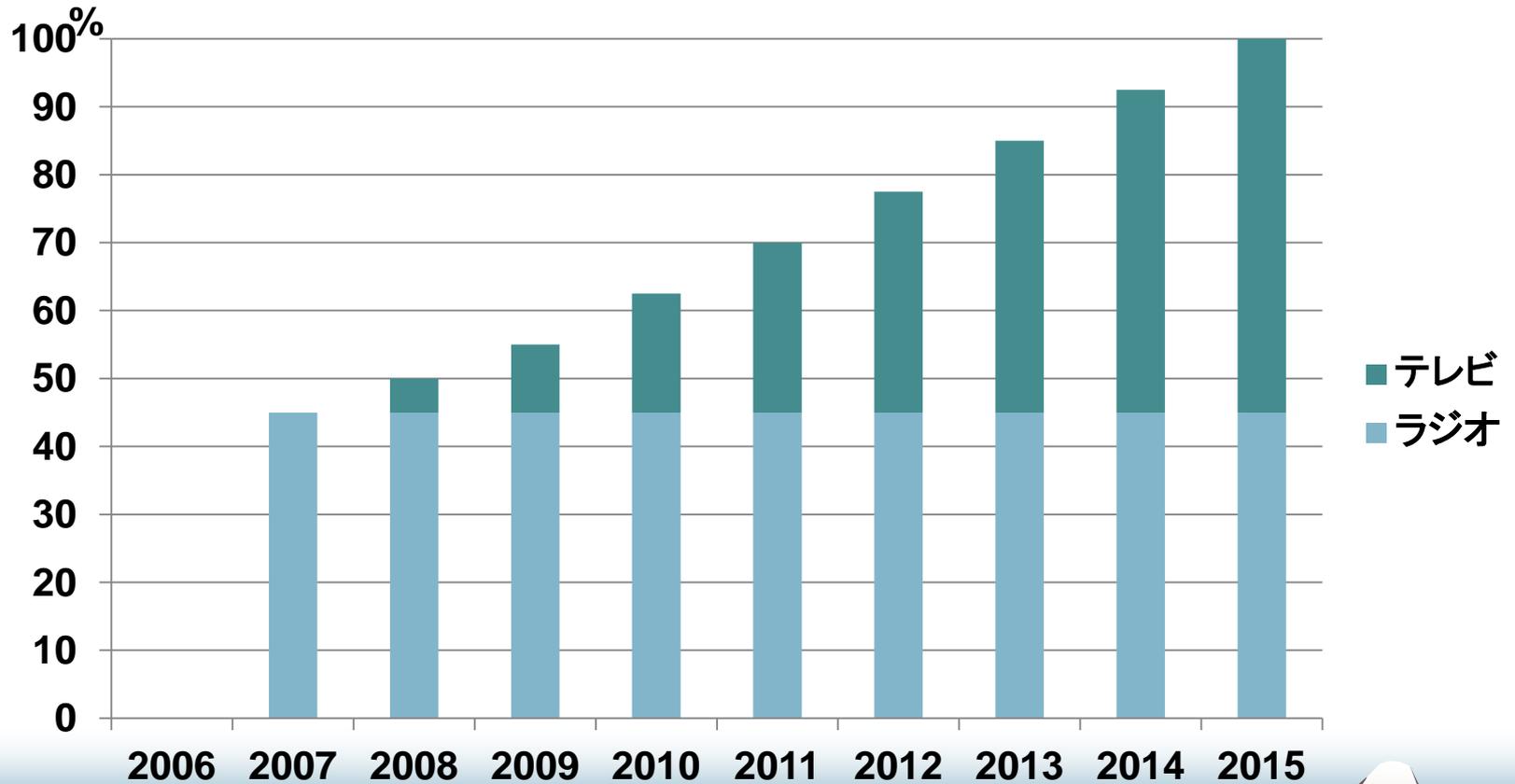
4.c. 放送による OER

- ◆ 放送大学モデル(およそ350科目以上)
- ◆ 作成に多大な経費必要
- ◆ ニュースなど、放送でしか認可されない素材を利用可
- ◆ 国境に制限される
 - Anywhere, Anytime とは言えない

4.d. ネットによる OER

- ◆ 作成は比較的容易で低価格
 - 放送大学では放送教材を変換している
- ◆ ニュースなどの素材は利用不可
- ◆ 全面公開だと権利処理が大問題→学生のみに公開
- ◆ 国境に制限されない
 - Anywhere, Anytime

ネット配信予定(放送大学)



4.e. 教科書の電子化

- ◆ 放送大学: 電子化は比較的容易のはず
 - 印刷教材(教科書)作成の義務化
 - 同一の出版社(放送大学教育振興会)
- ◆ 出版社のビジネスモデルがまだできない
 - 2013年度配信科目より、印刷教材の一部を事前に学生にネット公開

4.f. 課題と解決策

- ◆ **日本**: Creative Commons 化できない
知財権利処理の経費と手間
 - ストリーミング
 - 携帯型情報端末
 - 博物館などへの教育への公開依頼をすべき
- ◆ 一般大学: 権利処理のことをよく知らない
- ◆ 放送大学: 制作側が放送系で、ネット配信のことをよく知らない

4.g. OER の新たな潮流

- ◆ MOOCs (Massive Open Online Courses)
- ◆ 決まった方式はないが、かなり双方向的で自習可能なシステム
 - 例えば自習ドリル
 - 例えば時間を決めてディベート
- ◆ 修学生の履修管理は、現在なら容易
- ◆ コース修了認定をする
- ◆ 今のところ、経費は企業の出資が多い
 - 作るのにそれほど経費がかからない科目が多い

- ◆ MOOCsに対する大学の優位性
 - 良い教員が用意できる
 - 実験、実習の場を提供できる
 - コミュニケーションの場を与えられる
 - コース単位認定、その累積に対する**学位認定**

◆ 大学は優位性を保てるのか

- MOOCsでは僅かな本当に良い教員で達成可
 - 退職教員の余裕時間でも可
 - 市場原理→良いコースが峻別されていく
- 経費はかかるが、仮想実験は可
 - 電磁気学などは仮想実験の方が視覚的
- 仮想キャンパスの可能性
- 社会が学位ではなく峻別されたコースの修了認定を重視し始めないか

- ◆ 国際化というスローガンとともに英語版のコースの評価が上がり得る
- ◆ 大学の劣化→学士号への信頼喪失
- ◆ 大学改革の困難さ
- ◆ ICT のポテンシャルを知っている公開大学の学長、教員に危機意識大
 - 当面、次の動きに注目中

5. むすび

- ◆ 1. ICT化で技術、システムの問題はほぼなくなった(携帯端末の普及効果の行方)
- ◆ 2. 教員、学生への利用促進
- ◆ 3. 相変わらず、権利処理問題
- ◆ 4. SNS: 必要になりそう
- ◆ 5. OEは今後の大学の一つの方向性かも
一方で既存大学の危機になるかも